

第5章 資料

1 健康日本21（第2次）の目標値

健康日本21は、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を目指して、生活習慣の改善、健康増進、生活習慣病予防、健康寿命の延伸等について、具体的目標値を定め取り組む健康づくり運動です。

健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現に関する目標

項目	現状	目標
① 健康寿命の延伸 （日常生活に制限のない期間の平均の延伸）	男性 70.42 年 女性 73.62 年 （平成 22 年）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加（平成 34 年度）
② 健康格差の縮小 （日常生活に制限のない期間の平均の都道府県格差の縮小）	男性 2.79 年 女性 2.95 年 （平成 22 年）	都道府県格差の縮小 （平成 34 年度）

主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底に関する目標

(1) がん

項目	現状	目標
① 75 歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10 万人当たり）	84.3 （平成 22 年）	73.9 （平成 27 年）
② がん検診の受診率の向上	胃がん 男性 36.6% 女性 28.3% 肺がん 男性 26.4% 女性 23.0% 大腸がん 男性 28.1% 女性 23.9% 子宮頸がん 女性 37.7% 乳がん 女性 39.1%（平成 22 年）	50% （胃がん、肺がん、大腸がんは当面 40%） （平成 28 年度）

(2) 循環器疾患

項目	現状	目標
① 脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10 万人当たり）	脳血管疾患 男性 49.5 女性 26.9 虚血性心疾患 男性 36.9 女性 15.3 （平成 22 年）	脳血管疾患 男性 41.6 女性 24.7 虚血性心疾患 男性 31.8 女性 13.7 （平成 34 年度）
② 高血圧の改善（収縮期血圧の平均値の低下）	男性 138mmHg 女性 133mmHg （平成 22 年）	男性 134mmHg 女性 129mmHg （平成 34 年度）
③ 脂質異常症の減少	総コレステロール 240mg/dl 以上の者の割合 男性 13.8% 女性 22.0% LDL コレステロール 160mg/dl 以上の者の割合 男性 8.3% 女性 11.7% （平成 22 年）	総コレステロール 240mg/dl 以上の者の割合 男性 10% 女性 17% LDL コレステロール 160mg/dl 以上の者の割合 男性 6.2% 女性 8.8% （平成 34 年度）

④ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	1,400 万人 (平成 20 年度)	平成 20 年度と比べて 25%減少 (平成 27 年度)
⑤ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査の実施率 41.3% 特定保健指導の実施率 12.3% (平成 21 年度)	平成 25 年度から開始する第 2 期医療費適正化計画に合わせて設定 (平成 29 年度)

(3) 糖尿病

項 目	現 状	目 標
① 合併症（糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数）の減少	16,247 人 (平成 22 年)	15,000 人 (平成 34 年度)
② 治療継続者の割合の増加	63.7% (平成 22 年)	75% (平成 34 年度)
③ 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1c が J D S 値 8.0%（N G S P 値 8.4%）以上の者の割合の減少）	1.2% (平成 21 年度)	1.0% (平成 34 年度)
④ 糖尿病有病者の増加の抑制	890 万人 (平成 19 年)	1000 万人 (平成 34 年度)
⑤ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少（再掲）	1,400 万人 (平成 20 年度)	平成 20 年度と比べて 25%減少（平成 27 年度）
⑥ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上（再掲）	特定健康診査の実施率 41.3% 特定保健指導の実施率 12.3% (平成 21 年度)	平成 25 年度から開始する第 2 期医療費適正化計画に合わせて設定（平成 29 年度）

(4) COPD²⁵（慢性閉塞性肺疾患）

項 目	現 状	目 標
① COPDの認知度の向上	25%（平成 23 年）	80%（平成 34 年度）

社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標

(1) こころの健康

項 目	現 状	目 標
① 自殺者の減少（人口 10 万人当たり）	23.4 (平成 22 年)	自殺総合対策大綱の見直しの状況を踏まえて設定
② 気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少	10.4% (平成 22 年)	9.4% (平成 34 年度)
③ メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	33.6% (平成 19 年)	100% (平成 32 年)

²⁵COPD（慢性閉塞性肺疾患）：主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、せき、たん、息切れの症状が見られ、ゆっくりと呼吸障害が進行する。

④ 小児人口 10 万人当たりの小児科医・児童精神科医師の割合の増加	小児科医 94.4 (平成 22 年) 児童精神科医 10.6 (平成 21 年)	増加傾向へ (平成 26 年)
------------------------------------	--	--------------------

(2) 次世代の健康

項 目	現 状	目 標
① 健康な生活習慣（栄養・食生活、運動）を有する子どもの割合の増加		
ア 朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加	小学 5 年生 89.4% (平成 22 年度)	100%に近づける (平成 34 年度)
イ 運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	(参考値)週に 3 日以上 男子 61.5% 女子 35.9% 小学 5 年生 (平成 22 年)	増加傾向へ (平成 34 年度)
② 適正体重の子どもの増加		
ア 全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6% (平成 22 年)	減少傾向へ (平成 26 年)
イ 肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学 5 年生の中等度・高度肥満傾向児の割合 男子 4.60% 女子 3.39% (平成 23 年)	減少傾向へ (平成 26 年)

(3) 高齢者の健康

項 目	現 状	目 標
① 介護保険サービス利用者の増加の抑制	452 万人 (平成 24 年度)	657 万人 (平成 37 年度)
② 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	0.9% (平成 21 年)	10% (平成 34 年度)
③ ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している国民の割合の増加	(参考値) 17.3% (平成 24 年)	80% (平成 34 年度)
④ 低栄養傾向（BMI 20 以下）の高齢者の割合の増加の抑制	17.4% (平成 22 年)	22% (平成 34 年度)
⑤ 足腰に痛みのある高齢者の割合の減少（1,000 人当たり）	男性 218 人 女性 291 人 (平成 22 年)	男性 200 人 女性 260 人 (平成 34 年度)
⑥ 高齢者の社会参加の促進（就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加）	(参考値)何らかの地域活動をしている高齢者の割合 男性 64.0% 女性 55.1% (平成 20 年)	80% (平成 34 年度)

健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標

項目	現 状	目 標
① 地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合の増加）	（参考値）自分と地域のつながりが強い方だと思う割合 45.7%（平成 19 年）	65% （平成 34 年度）
② 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている国民の割合の増加	（参考値）健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合 3.0% （平成 18 年）	25% （平成 34 年度）
③ 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加	420 社 （平成 24 年）	3,000 社 （平成 34 年度）
④ 健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加	（参考値）民間団体から報告のあった活動拠点数 7,134 （平成 24 年）	15,000 （平成 34 年度）
⑤ 健康格差対策に取り組む自治体の増加（課題となる健康格差の実態を把握し、健康づくりが不利な集団への対策を実施している都道府県の数）	11 都道府県 （平成 24 年）	47 都道府県 （平成 34 年度）

栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標

(1) 栄養・食生活

項目	現 状	目 標
① 適正体重を維持している者の増加（肥満（BMI 25 以上）、やせ（BMI 18.5 未満）の減少）	20 歳～60 歳代男性の肥満者の割合 31.2% 40 歳～60 歳代女性の肥満者の割合 22.2% 20 歳代女性のやせの者の割合 29.0% （平成 22 年）	20 歳～60 歳代男性の肥満者の割合 28% 40 歳～60 歳代女性の肥満者の割合 19% 20 歳代女性のやせの者の割合 20% （平成 34 年度）
② 適切な量と質の食事をとる者の増加		
ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	68.1% （平成 23 年）	80% （平成 34 年度）
イ 食塩摂取量の減少	10.6g （平成 22 年）	8g （平成 34 年度）
ウ 野菜と果物の摂取量の増加	野菜摂取量の平均値 282g 果物摂取量 100g 未満の者の割合 61.4% （平成 22 年）	野菜摂取量の平均値 350g 果物摂取量 100g 未満の者の割合 30% （平成 34 年度）
③ 共食の増加（食事を 1 人で食べる子どもの割合の減少）	朝食 小学生 15.3% 中学生 33.7% 夕食 小学生 2.2% 中学生 6.0% （平成 22 年度）	減少傾向へ （平成 34 年度）

④ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加	食品企業登録数 14 社 飲食店登録数 17,284 店舗 (平成 24 年)	食品企業登録数 100 社 飲食店登録数 30,000 店舗 (平成 34 年度)
⑤ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	(参考値) 管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 70.5% (平成 22 年)	80% (平成 34 年度)

(2) 身体活動・運動

項目	現 状	目 標
① 日常生活における歩数の増加	20 歳～64 歳 男性 7,841 歩 女性 6,883 歩 65 歳以上 男性 5,628 歩 女性 4,584 歩 (平成 22 年)	20 歳～64 歳 男性 9,000 歩 女性 8,500 歩 65 歳以上 男性 7,000 歩 女性 6,000 歩 (平成 34 年度)
② 運動習慣者の割合の増加	20 歳～64 歳 男性 26.3% 女性 22.9% 65 歳以上 男性 47.6% 女性 37.6% (平成 22 年)	20 歳～64 歳 男性 36% 女性 33% 65 歳以上 男性 58% 女性 48% (平成 34 年度)
③ 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加	17 都道府県 (平成 24 年)	47 都道府県 (平成 34 年度)

(3) 休養

項目	現 状	目 標
① 睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	18.4% (平成 21 年)	15% (平成 34 年度)
② 週労働時間 60 時間以上の雇用の割合の減少	9.3% (平成 23 年)	5.0% (平成 32 年)

(4) 飲酒

項目	現 状	目 標
① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1 日当たりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上の者）の割合の減少	男性 15.3% 女性 7.5% (平成 22 年)	男性 13% 女性 6.4% (平成 34 年度)
② 未成年者の飲酒をなくす	中学 3 年生 男子 10.5% 女子 11.7% 高校 3 年生 男子 21.7% 女子 19.9% (平成 22 年)	0% (平成 34 年度)
③ 妊娠中の飲酒をなくす	8.7% (平成 22 年)	0% (平成 26 年)

(5) 喫煙

項目	現 状	目 標
① 成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	19.5% （平成 22 年）	12% （平成 34 年）
② 未成年者の喫煙をなくす	中学 1 年生 男子 1.6% 女子 0.9% 高校 3 年生 男子 8.6% 女子 3.8% （平成 22 年）	0% （平成 34 年度）
③ 妊娠中の喫煙をなくす	5.0% （平成 22 年）	0% （平成 26 年）
④ 受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する者の割合の減少	行政機関 16.9%（平成 20 年） 医療機関 13.3%（平成 20 年） 職場 64% （平成 23 年） 家庭 10.7% （平成 22 年） 飲食店 50.1% （平成 22 年）	行政機関 0%（平成 34 年度） 医療機関 0%（平成 34 年度） 職場 受動喫煙の無い職場の実現（平成 32 年） 家庭 3%（平成 34 年度） 飲食店 15%（平成 34 年度）

(6) 歯・口腔の健康

項目	現 状	目 標
① 口腔機能の維持・向上（60歳代における咀嚼良好者の割合の増加）	73.4% （平成 21 年）	80% （平成 34 年度）
② 歯の喪失防止		
ア 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	25.0% （平成 17 年）	50% （平成 34 年度）
イ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60.2% （平成 17 年）	70% （平成 34 年度）
ウ 40歳で喪失歯のない者の割合の増加	54.1% （平成 17 年）	75% （平成 34 年度）
③ 歯周病を有する者の割合の減少		
ア 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	31.7% （平成 21 年）	25% （平成 34 年度）
イ 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	37.3% （平成 17 年）	25% （平成 34 年度）
ウ 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	54.7% （平成 17 年）	45% （平成 34 年度）
④ 乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加		
ア 3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加	6 都道府県 （平成 21 年）	23 都道府県 （平成 34 年度）
イ 12歳児の一人平均う蝕数が1.0歯未満である都道府県の増加	7 都道府県 （平成 23 年）	28 都道府県 （平成 34 年度）
⑤ 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	34.1% （平成 21 年）	65% （平成 34 年度）

2 練馬区 健康いきいき体操



練馬区は、板橋区から独立し平成 19 年 8 月 1 日に 60 周年を迎えました。区ではこれを記念して、区民の皆様がいつまでも健康でいきがいのある生活を送るため、誰もが気軽に取り組みめる健康体操として、平成 18 年 12 月に「練馬区健康いきいき体操」を創作しました。



「練馬区の歌」—わが街・練馬



久野幸子 作詞(公募) / 松永伍一 補作詞 / 川崎祥悦 作曲・編曲

花と緑につつまれて
わが街・練馬をあるいてごらん
春がきたよと こぶし咲き
梅の香りの漂うなかで
きっと元気が出るでしょう

朝の光に照らされて
わが街・練馬をあるいてごらん
夏がくるよと つつじ咲き
土の香りの漂うなかで
きっと元気が出るでしょう

かわい声に開かれて
わが街・練馬をあるいてごらん
秋の実りよ 子供たち
虹の七色輝くなかで
きっと元気が出るでしょう

錦の落ち葉踏みしめて
わが街・練馬をあるいてごらん
冬鳥たちも 飛んできて
地球の明日を夢みるなかで
きっと元気が出るでしょう

♩=118 くらい

1 はな との みどり に つつ 一 ま れ て て
(2 あ) の い ひかり にに つつら 一 さ れ て て
(3 か) い い こえー ぼ つかみ 一 し め
(4 に) し き の おちー ぶ 一

を ある い て ご ら ん は な つ き が き た り と こ つ
あ あ ぶ ぶ ど り ち ら 一 も こと

ぶ ー し さ き う め の か お り の た だ よ う な か で
っ ー も た い に ち の な い た か が や く な か で
ん ー で き て ら き う の あ し た を め ゐ る な か で

と げん き が せ ら せ ゃ う ま さ ー
ま わ し 4 に し



1♪ 前 奏 2-1♪ 花 と 緑 に 3-1♪ つ つ ま れ て (12-2)へ♪
 2-2♪ わ が 街 ・ 練 馬 を 3-2♪ あ る い て こ ら ん

1
リズムに合わせて足踏みします。

2
腕を左右交互に上に伸ばします。3回目は腕を伸ばしたまま、上体を軽く横に倒します。

3
「2」と同じ動作を反対の腕から行います。

4♪ 春がきたよと 5♪ こぶし 咲 き 6♪ 梅の香りの漂うなかで 7♪ き っ と 元 気 が 8♪ 出 る で し ょ う (19-1)へ♪

4
両手を胸の前で組み、肩中を丸めながら両腕を伸ばします。膝は軽く曲げておきます。

5
両手を頭の後ろで組み、胸を張りながら、両肘を左右に開きます。

6
指先を肩に出して、肘で大きく円を描くように回します。

7
指先を肩に出して、肩を丸めて両肘を合わせたら、胸を張って両肘を開きます。

8
グーパーをしながら腕を左右交互に胸の前で伸ばします。膝も合わせて曲げ伸ばします。

9-1へ

9-1♪ 朝の光に 10-1♪ 照らされて 11-1♪ わが街・練馬を 12-1♪ あるいてごらん (19-2)へ♪
 9-2♪ 夏がくるよと 10-2♪ つ つ じ 咲 き 11-2♪ 土の香りの漂う 12-2♪ な か で き っ と

9
両腕を左右に開きながら片足を踏み出します。

10
「9」の動作から両手を踵に置き、膝を曲げ伸ばします。

11
両手を踵に置き、左右の「かかと」を交互に振り出して床につけます。

12
その場で足踏みで、大腿部を踵の高さまで引き上げます。

13♪ 元 気 が 出 る で し ょ う 14♪ 15♪ 間 奏 (14/15) を 2 回 行 い、「2」へ戻り「13」まで繰り返す♪ 16♪ 後 奏

13
両手で、大腿部一節一定音とリズムに合わせて軽く叩きます。

14
腕の力を抜き、両腕を張りながら、膝を軽く曲げ伸ばします。

15
片足を踵に踏み出し、両腕を胸の前で伸ばします。そのまま、膝を軽く曲げながら膝を返ります。

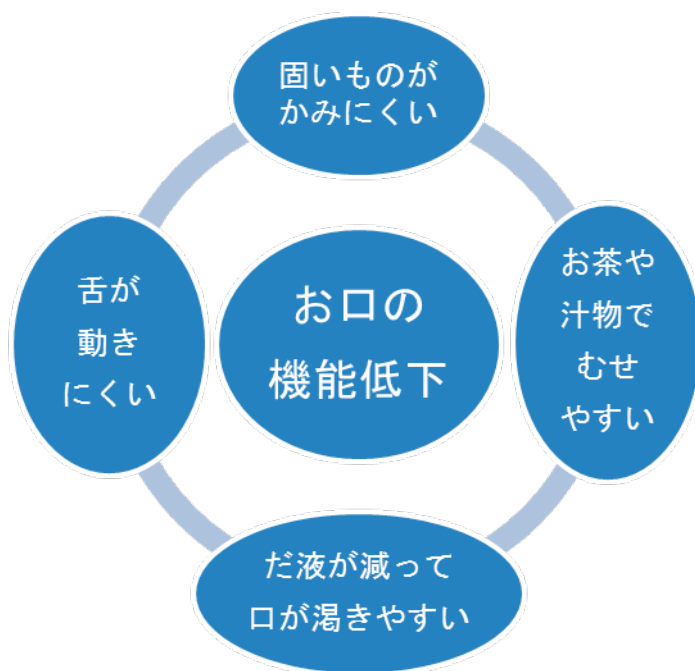
16
「後奏」で深呼吸をしながら終わります。

いつまでも、いきいきと自分らしい生活を送っていただくために

ねりま お口すっきり体操

私たちは食事をするとき、顔面、特に口の周りにあるたくさんの筋肉を使っています。しかし、年齢と共にこれらの筋肉が衰えていくと、様々な症状がでてきます。

お口の機能が低下すると、「固いものがかみにくい」、「お茶や汁物でむせやすい」、「唾液が減って口が渴きやすい」、「舌が動きにくい」などの症状がでてきます。食事や会話などの日常生活に影響が出てしまいます。



お口の体操を続けることでこのような症状が改善すると、口がうるおい、飲み込む力が良くなります。おいしく、楽しく食事ができ、素敵な笑顔で会話を楽しむことにもつながります。

やってみましょう。ねりま お口すっきり体操



唾液腺マッサージ

お口のうるおいのための体操
唾液腺をマッサージして刺激します



パタカラ発声

食べ物を押しつぶす力や
飲み込む力をつけるための体操



頬のふくらし体操

頬や口唇の力をつけるための体操



舌の体操

飲み込む力をつけるための体操



高齢者の集まる場所やイベントで「ねりま お口すっきり体操」を普及しています。

4 健康づくりに係る様々なイメージマーク

【】内は、各々のマークの利用について主管する団体等です。

マタニティマーク



妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくし、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。母子健康手帳交付の際にお渡ししています。

【厚生労働省】

よい歯のバッジ



小学校での歯科健康診断の際にむし歯・歯周疾患のない児童や、むし歯の治療が終了した児童に対し「よい歯のバッジ」を配付し、むし歯予防と早期治療を啓発しています。【練馬区】

ヘルプマーク・ヘルプカード



ヘルプマークは、義足や人工関節の使用、難病の方など、外見からはその障害が分からない方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるものです。障害の種別や状況により、その方が必要とする支援は様々なことから、練馬区では、手助けしてほしい内容を記載できるヘルプカードを作成しています。

【東京都福祉保健局、練馬区】

ピンクリボン



「乳がんが悲しむ人を一人でも減らしたい」との思いから 1980 年代にアメリカで発祥しました。乳がんは、50～60 代の死亡が多いことが特徴です。練馬区でも乳がん死亡の約半数が 65 歳未満の壮年層となっており、乳がん検診の早期受診を呼びかける啓発活動に力を入れています。がんに関するリボン運動には、ブルーリボン（大腸がん）、パールリボン（肺がん）など様々なものがあります。

【ピンクリボンフェスティバル運営委員会事務局（日本対がん協会）】

オストメイトマーク



人工肛門・人工ぼうこうを造設している人（オストメイト）のための設備があることを表示しています。

【公益社団法人 日本オストミー協会】

認知症サポーターがいます



認知症サポーターは、認知症に対して正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ってくれる方々です。近隣の認知症の人や家族に対して、相互扶助や協力・連携してくれる認知症サポーター（認知症サポーター養成講座の修了者）がいることを知らせるもので、店舗や事業所にこのステッカーを配布しています。

【全国キャラバン・メイト連絡協議会、練馬区】

5 健康づくりに関連する相談場所一覧

出産・育児に関すること 乳幼児の健康診査 母親学級、育児学級、こんにちは赤ちゃん訪問、産後相談に関すること 精神保健、自立支援サービスに関すること		
豊玉保健相談所	豊玉北 5-15-19	3992-1188
北保健相談所	北町 8-2-11	3931-1347
光が丘保健相談所	光が丘 2-9-6	5997-7722
石神井保健相談所	石神井町 7-3-28	3996-0634
大泉保健相談所	大泉学園町 5-8-8	3921-0217
関保健相談所	関町東 1-27-4	3929-5381

成人の健康診査、がん検診、肝炎ウイルス検診に関すること		
健康推進課成人保健係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4669

出産・育児に関すること 妊産婦の健康診査、妊婦歯科健診、里帰り出産に関すること		
健康推進課母子保健係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4621

健康づくりに関すること		
健康推進課健康づくり係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4624

歯科保健に関すること		
健康推進課歯科保健担当係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4682

食育、栄養に関すること		
健康推進課栄養指導担当係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4679

予防接種（子ども、高齢者）に関すること		
保健予防課予防係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-2484

感染症に関すること		
保健予防課感染症指導係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4671

自立支援医療費（精神通院）、精神障害者保健福祉手帳に関すること		
保健予防課精神保健係	豊玉北 6-12-1 区役所内	5984-4764

6 練馬区健康推進協議会

練馬区健康づくり総合計画は、健康推進協議会での検討を踏まえ策定しました。

開催日	第1回	平成26年9月1日
	第2回	平成26年11月17日
	第3回	平成27年3月12日
	第4回	平成27年8月24日

健康推進協議会委員名簿（第九期）

分類	氏名	職業等
区民	松木 英昭	公募区民
	丸山 淑子	公募区民
	荒井 亮三	公募区民
	豊田 英紀	公募区民
	上野 美知子	公募区民
学識経験者	高久 史麿	日本医学会長（委員会会長）
	佐々木 常雄	駒込病院名誉院長（委員会副会長）
	島田 美喜	東京純心大学 教授
	小野塚 栄作	区議会議員（平成27年5月29日まで）
	高松 さとし	区議会議員（平成27年5月29日まで）
	酒井 妙子	区議会議員（平成27年5月29日まで）
	やない 克子	区議会議員（平成27年5月29日まで）
	倉田 れいか	区議会議員（平成27年5月29日まで）
	土屋 としひろ	区議会議員（平成27年5月29日まで）
	笠原 こうぞう	区議会議員（平成27年6月11日から）
	かしま まさお	区議会議員（平成27年6月11日から）
	うすい 民男	区議会議員（平成27年6月11日から）
	橋本 けいこ	区議会議員（平成27年6月11日から）
	岩瀬 たけし	区議会議員（平成27年6月11日から）
	藤井 ともり	区議会議員（平成27年6月11日から）
医療関係 団体	伊藤 大介	一般社団法人 練馬区医師会副会長
	関東 英雄	公益社団法人 練馬区歯科医師会会長（平成27年6月19日まで）
	浅田 博之	公益社団法人 練馬区歯科医師会副会長（平成27年6月20日から）
	関口 博通	一般社団法人 練馬区薬剤師会会長
	後藤 正臣	公益社団法人 東京都柔道接骨師会練馬支部副支部長
	佐伯 良重	練馬区獣医師会会長（平成27年3月31日まで）
	名川 一史	練馬区獣医師会会長（平成27年4月1日から）
福祉関係 団体	増田 時枝	練馬区老人クラブ連合会会長
	川崎 秀子	練馬区身体障害者福祉協会副会長
	渡邊 ミツ子	特定非営利活動法人練馬家族会参与
	森山 瑞江	練馬手をつなぐ親の会会長（平成27年7月16日まで）
	高村 章子	練馬手をつなぐ親の会副会長（平成27年7月17日から）
	成尾 善子	練馬区民生児童委員協議会（氷川台・平和台・早宮地区会長）
事業者関係 団体	秋本 重義	練馬区食品衛生協会会長
	豊島 力	練馬区環境衛生協会副会長